

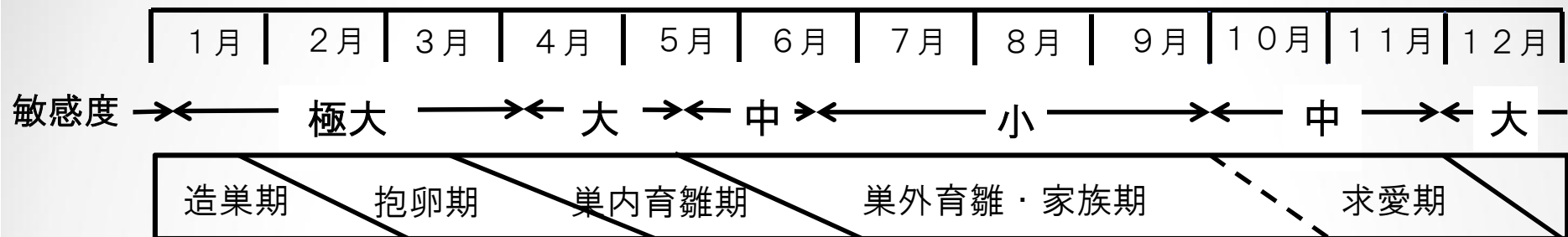
猛禽類保護の進め方（ガイドライン）

- 生物多様性保全の意識の高まりの中、生態系とその頂点に立つ猛禽類の保護が大きな課題
- 平成8年、イヌワシ、クマタカ、オオタカの3種の猛禽類を対象に専門家の意見を聞きつつ、環境庁（当時）がとりまとめ
- 各種開発行為等が及ぶおそれがある場合に保護する上で必要な事項を提示。環境アセスや開発との調整等に広く活用。また、各省庁等による個別事業のための指針等作成の際の参考として活用
- その後、取り巻く環境の変化や知見の蓄積等を踏まえ、平成24年12月に改訂版を公表



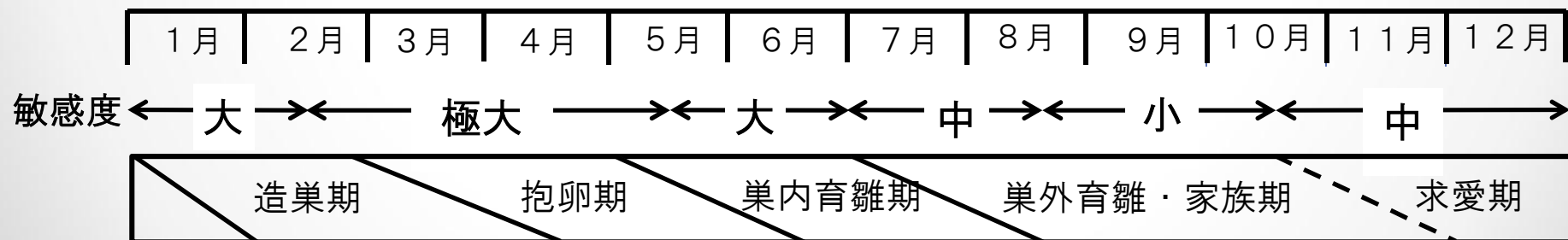
猛禽類の生活サイクル

イヌワシ



○12~6月の繁殖期は、調査を避ける必要がある。

クマタカ



○1~7月の繁殖期は、調査を避ける必要がある。